

はばたけ

東京都社会福祉事業団
東京都八街学園
「はばたけ」
令和4年度 第2号
(通算 第57号)
令和4年 11月 8日発行

〒289-1103 千葉県八街市八街に 151 ☎043-443-1021 FAX 043-443-7215

URL <https://www.jigyodan.org/yachimata-gakuen/> E-mail info@yachimata-gakuen.jp

園長 挨拶

前号（6月発行）のご挨拶の中で、新型コロナウイルス感染症が収束傾向となり、中学校では体育祭や修学旅行が実施できたことをご報告しました。しかし、その後、夏休みが近づくとつれ、新型コロナウイルス感染症が再拡大し、ドッジボール大会や興津臨海学校等の外部主催行事が中止となった他、8月下旬に園内で予定していた「サマーフエルティバル」も中止の決断をせざるを得ない状況となっていました。また、園内でも、感染が確認され、一定期間生活を制限せざるを得なくなりました。

このような中、八街学園では、大規模な行事ではなく、その時

の状況に合わせた小規模なイベントや、日常生活の中での様々な工夫を行ってきました。一定の制約がある中、「子どもたちと一緒に楽しむ」というコンセプトのもと、笑顔溢れる場をたくさん作ってくれた職員の方々の発想力と行動力に感謝の思いでいっぱいです。本号では、それらの一部を紹介しておりますのでご覧になってください。

また、本号には、この4月から八街学園に入職した職員が全員記事を執筆しております。緊張感で一杯の状態で4月を迎えた彼らが、わずか3、4か月の間に子どもたちと楽しみを共有できるまでに成長してくれたことは何よりの喜びです。彼らを支え、指導してくれた先輩職員の方々に感謝すると共に、今後

の彼らの益々の成長と活躍を期待したいと思います。

世の中の情勢は、コロナ以前の日常に戻るには、まだしばらく時間がかかりそうです。私たちがとしては、対策を怠ることなく生活の支援をしまいたいと思います。

一方で、うれしいことに、八街学園の地元では、十一月五日、六日に、祭礼を3年ぶりに開催することが決定されました。園としても、準備や運営に協力し、地域の皆様と共に楽しいひとときを過ごせればと思っております。八街駅周辺は、各地域の山車が運行されたり、出店が出たり等賑やかな雰囲気になるそうです。近くにお越しの際には、是非立ち寄りください。

園長 財前 仁

夏休みの思い出

コロナの影響下にあっても可能なことを探りながら夏休みのイベントを企画していきました。

当園において初めて夏の思い出がで

きた新任職員さんの言葉とともにご紹介

します。



イン・パーク!



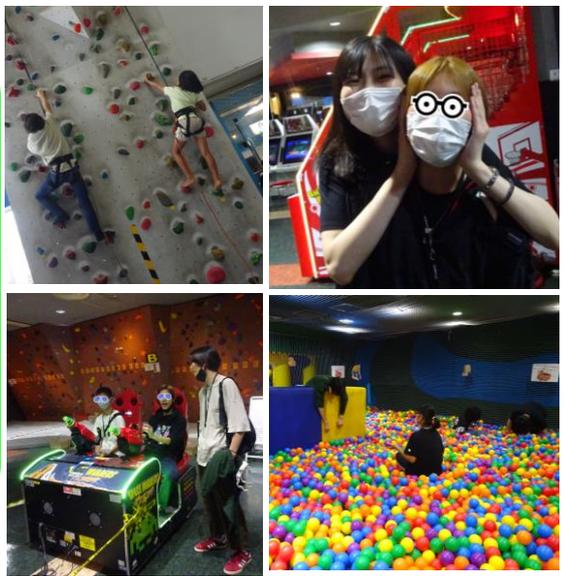
D2寮はデイズニーシーに行ってきました! 5人中4人は初めて行くので人気の乗り物や美味しそうな食べ物、お土産を調べ、準備はつちりです。みんな早起きして楽しみな様子でした。車の中から見えるアトラクションの大きさに大興奮! 着いてからは街並みの綺麗さに圧倒され、迷子になることも…。パーク内でミッキーフレンズに出会うと手を振り、うっとり眺めていました。一回転するジェットコースターでは、他のゲストの悲鳴を聞くと「怖い!」と不安そうでしたが、乗った後にはスピードに楽しさを感じ笑顔になっていました。みんなでミッキーの形をしたチョコロスを食べひと休憩。デイズニーシーの人気アトラクションを乗り満足そうでした。その後はコップやTシャツ、お菓子を買っていました。沢山の種類があり真剣に選んでいました。夢の国ならではの値段に顔をしかめる場面も…。帰りは楽しかったことや驚いたことなど、お話をしていました。気が付けばみんなぐっすり。充実した1日を送ることが出来ました。デイズニーシーで買った物は今でも大切に使っています。思い出としても形としてもD2寮に残っています。

花火大会



8月29日、C棟は花火大会を行いました。その日は小雨が降っていましたが花火を始める前には止んで無事花火大会を行うことが出来ました。花火を持ちながら踊っている子、端っこで1人で花火を楽しむ子など、一人ひとりがそれぞれの楽しみ方を見つけていました。1種類しかない花火はみんなでジャンケンをしました。勝った子はみんなに注目されながら花火を行っていました。線香花火では花火が弾けるハプニングがありました。楽しい花火大会にすることが出来ましたが、楽しい花火大会にすることが出来ませんでした。花火を終えて寮に戻って今度はみんなで大きなスイカを食べました。私自身にとっても、とても思い出に残る1日になりました。





リアルゲームパーク



夏休み、「コロナの影響で行事が延期や中止になる中、終盤でお出かけをすることが出来ました。場所はリアルゲームパークCROSSPOに行ってきました。ここでは、トランポリン・ボルダリング・ボウリング・ダーツ・カラオケ・釣り・アスレチック・卓球・ゲームセンターなどが遊び放題！トランポリンで思いっきり跳ねたり、ボルダリングでは、高い壁に何度も挑戦したり、釣りでは、魚を6匹以上も釣った児童も！そして夕食は、すたみな太郎で食べ放題。お肉屋、お寿司など、それぞれ好きなものをお腹いっぱい食べました。児童も職員も1日を通して目一杯楽しみました！

沖ノ島海水浴場



夏にしかできない体験をしたい！ということで、車で片道約2時間半の沖ノ島海水浴場へ行ってきました。はじめは「行かなくてもいいや」「水着買わない」という声もありましたが、当日に近付くにつれて「水鉄砲買ってこる」「ラッシュガードも買う」とみんなノリノリでした。当日、車内でゲームをしている子ども達に「まだ？」と言われ、「もうすぐだよ」と繰り返すこと1時間、ようやく海が見えました。着いた途端荷物を置き、浮き輪を持って海に入る子ども達。「海はいいや」と言っていた子どもも浮き輪でぶかぶか浮き、笑顔が見られました。午後は砂浜でお弁当を食べ、魚を追いかけ、職員対子どもの水鉄砲合戦もありました。職員も全身海に入り、子ども達を見守りながら水鉄砲で遊んだり、浮き輪に乗って子どもに引っ張ってもらったりと、穏やかでした。風が強く、お弁当の具も砂にまみれ、持ってきたリュックや服も砂まみれになってしまいましたが、みんなでシャワーを浴び、すっきりして帰寮しました。帰寮後は全員の肌の黒さに驚きましたが、誰が一番黒いか競争をしていて、最後まで楽しみました。



バーベキュー大会



8月7日に、児童と寮職員全員で、泉自然公園にバーベキューをしに行きました。当初は、バーベキューとフォレストアドベンチャーという大きなアスレチックを行う予定でしたが、天候が優れず当日はバーベキューのみの実施でした。バーベキューは様々なお肉はもちろんのこと、エビや焼きそば、パエリアまで食べる事が出来ました。子ども達も「俺もって食べる！これも食べる！」と食欲旺盛でした。食べるだけでなく調理の方も積極的に行っていました。野菜もみんな分担して切りました。「これどうやって切ればいい？」と子ども達は積極的に職員と一緒に野菜を切ってくれました。焼きそばやパエリアを調理している間に、子ども達は自然を観察していたり、職員と一緒にキャッチボールやサッカーを行ったりしていました。バーベキューだけでなくスポーツなども行えて満足することが出来ました。



児童主催の“ろくむし大会”



夏休みの予定の無い日。子どもたちは「暇〜」と言いながら、集団になって園内をウロウロ…。そんなときに「みんなでろくむしやろー！」と軽い気持ちで声を掛け始めた。その中で「もっと大勢で、ろくむし大会をしたい！」と中学生3名の児童が提案してくれました。

ろくむし大会の日程を決めた後は、3人で集まりルールの見直しや、大会の準備で大忙し。大会当日は司会や仕切りもしてくれました。大会は、子どもも職員も大勢参加し、予定終了時刻を超えるほどの大盛り上がりでした。

「たのしかったから、大会にして思い出を作りたい」

企画、運営してくれた児童のひとりであるSさんは、手書きのポスターを作成し、当日は、盛り上がるような声出しを意識して運営をしました。また、大会の動機については、Sさんは「皆とろくむしゲームをしてみたら、すごく楽しかったから、大会にして楽しい思い出を作りたい」から、企画してよかった。Kさんは「みんな楽しく何かをしたいと思ったから」と教えてくれました。やりたいことを、アイデアを出し合い実現できる、そんな児童の力に気づかされたイベントでした。3人も、ありがとう、お疲れ様でした!!

お知らせコーナー



八街学園のHPではボランティア募集や児童養護施設の生活についてご案内しております。スタッフブログもありますのでぜひご覧ください。

八街学園を退所した皆様へ

学園を出て、一人暮らしをしたり、家庭に戻ったりなど様々な方がいらっしゃると思います。

八街学園はそんな退所者の皆さんに、アフターケアとしてずっと関わっていき、何か手助けが出来れば、と思っています。

困ったことだけではなく、「話を聞いてほしい」、「なんとなく電話してみただけ」、そのようなちょっとしたことでも大歓迎です。

もしかしたら、転勤や退職で知っている職員がいない、ということもあるかもしれません。そういうときは、アフターケアの担当職員もいます。みなさんの連絡を待っています。

